

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ジュニアサッカー育成事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 箕輪町サッカー協会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関わる事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	500,192 円 (うち支援金: 375,000 円)

事業内容

サッカー経験者を講師として、現在子供さんをサッカークラブに通わせている、保護者を対象に、親としての指導の仕方や、応援の仕方、又子供のゲームでの失敗や、ミス、又好プレーのほめ方などを、子供を交えて指導をした。

リスペクトすると言う事の意味をしっかりと保護者が理解することによって、子供の成長や、子供たちが学校で接するスポーツでの相互の協調性やプレーでの反則やミスをした時の対応の仕方など、実践経験を生かした講演をお願いした。

(活動写)



【1月28日の様子】

【目標・ねらい】

- ① 保護者指導のあり方
- ② ミスや、反則したプレーの指導
- ③ 対戦相手のプレーへの賞賛のあり方など

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

保護者からは、サッカーやスポーツの経験の無い方が、いろいろなスポーツを通じて、好プレーだけでなく、ミスや、反則などのプレーに、きちんと子供に説明や、やじなど言っていない事や、お互いのプレーをほめたりすることが、少しずつ理解してきたようです。

今後の新年度に向かい親と子が、選手同士がリスペクトする事をきたしていきたい音思います。

※自己評価【 B 】

【理由】

大勢の保護者に経験談や、プレーのほめ方などを聞いてもらいたかったが、思うような参加者が揃わな事が残念でした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

指導者講習を通じて、子供の指導と共に、保護者への支援や応援の仕方など、指導者側から見た保護者の対応をしっかり見ていく事が大切と思い、指導体制をより充実していく事を検討wしていきたいと思えます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある